

## 事務事業点検・評価調書

### 1 事業名等

事業名	放課後子どもプラン事業
施策体系 <small>(第6次西川町総合計画)</small>	4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきする町づくり (2) 郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育 郷土教育の推進

所管課 ・係	学校教育課		
	教育総務係		
予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

### 2 事業の概要

事業目的	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労等で放課後留守家庭となる子どもの見守り</li> <li>・地域の協力の下、様々な体験活動や交流活動を実施</li> <li>・その計画立案連絡調整のためにコーディネーターや推進員の配置</li> <li>・子どもの安全を確保するための安全管理員の配置</li> </ul>

### 3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,100	補正額等		合計	5,100	決算額	4,863
備考							

### 4 事業の実施状況

・放課後子ども教室 開催日数 280日 参加児童数 平均 36名 登録児童(134人) 推進員の配置数 平均 3.5人 登録人数(4名) 安全管理員 一日開催時 登録人数(3名) ・運営委員会の開催(年2回) 子どもプラン実施についての検討会 (10名委嘱)	・放課後子ども教室における体験活動 農業体験活動、お話し会、読書活動 手作り紙芝居教室、紙芝居作成(睦合の相撲大会) 民舞教室、工作体験、スポーツ体験他 学習活動、国際理解教室(中国語講座) 地域の指導者(延べ人数)111人 中学生ボランティア 20名
--	---

### 5 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	適切に対応している 概ね対応できている ほとんど対応できていない	家庭環境により放課後の子どもの見守りを希望している町民が増えていることに十分に対応している。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	十分に効果が得られている ある程度の効果が得られている 効果があまり得られていない	見守りだけでなく、地域の人材を生かした体験活動を実施するなど、投入した経費以上の効果が得られている。
有効性	期待された成果は得られたか	期待した成果が得られている 概ね期待した成果が得られている 期待した成果があまり得られていない	子どもたちの居場所の確保のみならず、健全な子どもの育成のための地域住民とのかかわりなど、期待された成果が得られている。

### 6 今後の対応等

方向性	拡充      継続      縮小      見直し      休廃止
今後の対応	少子化が益々進むことが予想される今日において、子どもの居場所づくりは、とても重要な課題である。また、家庭環境の変化に伴い、子どもの居場所づくりを希望する保護者の増加も見込まれる。また、郷土に愛着を持ち、豊かな感性を磨く人間を育成する郷土教育の振興のためにも、見守り活動重視から、地域の特色を生かした活動へ移行していくことが必要である。